

# 想

## 「この頃想うこと」

町長 三浦正隆



ちよつと考えただけでもいろんな問題点が浮かび上がってきます。



地方創生と言いながらも東京の一極集中はますます拍車がかかっています。中央が地方を吸収する“中央集中のメカニズム”です。確かに大都会は若者にとって刺激的で魅力に溢れた場所であり、広い世界を見ることはとても大事なことです。私も一旦は東京に出ましたが、結局Uターンを選びました。高望みさえしなければ地方では何とか生活できますし、住み慣れた地域でゆったりとマイペースで暮らすことの方が自分にとって良かったと思っています。

地域資源を磨き、住む人が輝き、国の内外から選択されるようなまちづくり、三種町がそんなまちになって欲しいと願っています。

皆様、今月もどうか健康でお元気にお過ごし下さい。

大への不満が爆発したものであると解説されています。

今、国も地方も新しく見据えた地域社会を考えなければならなくなってきました。日本は世界に冠たる生活水準や治安の安全性を誇っています。これを今後どのように維持していくか大変難しい問題です。このような変化の時代を迎えて20、30年後にどう持続可能なまちづくりを図っていくか。私たちにどう今考えなければならぬ大事な問題です。

上下水道や道路・橋などネットワークインフラと呼ばれる施設も含めて多様な公共施設を今後どう維持していくのか？災害多発の時代に備えて安心安全の確保はどうするのか？人口減少に伴うコミュニティ再生のための手法は？公共交通は今後どうするのか？雇用機会を確保するために農林業を中心とした産業構造をどう構築するか？そして、人づくりのための教育・文化政策をどうするのか？

さて、最近はなかなか国内・国外ともに慌ただしくなってきました。いくら考えても日本と世界は大きな転換点にさしかかっていると言えるのではないのでしょうか。そして、今までの延長線上で考えるのではなくて中・長期的には新しい観点から考える必要があるという識者もおられます。これまで経験したことのないような社会構造の転換点にさしかかっていると言ふことなのでしょう。



私たちにどうしてグローバル化は「善」であると思われてきました。得意な物を作ればいい。不得意な物は輸入すれば良いと考えてきました。ヒト・モノ・カネが自由に移動し、交わることが人類を幸せにするという神話が世界を覆っていました。

しかし、トランプ大統領の出現はグローバル化という現代の神話への不信感の表明であり、格差拡

今年も全国各地で豪雨災害が続いていますが、本町でも先月、三種川の洪水に見舞われました。川の幅の拡張工事は牛沢橋から増沢のあたりまで進んできましたが、達子や長面の部分はまだ手つかずのため被害が大きくなってしまいました。

被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに一日も早い完成を引き続き国・県に要望して参ります。



牛沢橋付近